



## <内 容>

- ◇ 最長学習者帰国に寄せて
- ◇ いろいろな行事
  - 七夕
  - お月見
  - 防災訓練
  - TKU×KIA 大学生による  
学習者へのインタビュー
- ◇ 特集 パート2  
「私の行ってみたいところ」
- ◇ イベントレポート
  - ベトナムオンラインツアー&交流会
  - 着物フェスタ 2022
- ◇ 新しいスタッフ紹介
- ◇ 教室の様子

## 最長学習者帰国によせて

メンディさんは2012年3月に日本語教室に入られ、10年間教室に通われました。私はその内の2年間を担当させていただきました。勤め先は英語が通じるので日本語を使う機会がほとんどなく、教室には会話を求めて来られました。趣味のお寺めぐり・料理の話、スペインと日本の比較の話、学会出張の話、専門の通信の話等多岐に渡りました。また日本語の本を読みたいとのことで、漢字の練習もしました。勤め先のオープンハウスの時は、研究所内の案内もさせていただきました。

この度スペインに帰国することになり教室を退室されました。10月15日のフライトで帰国するお忙しい中、10月12日最後となる教室に来られました。挨拶をお願いしましたが、奥ゆかしく辞退ということになりましたので私がこの文を書いています。

日本語のテキスト等25冊を寄付いただきありがとうございました。10年間の長きにわたりお疲れ様でした。今後のご活躍をお祈りします。

かじはら たかし  
(梶原 貴)

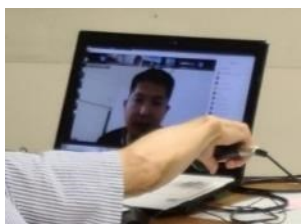


メンディさん  
〔スペイン〕

## いろいろな行事 Various events

教室で行われた行事を担当したスタッフにレポートしていただきました。

### ●七夕（たなばた）



7月6日、3年ぶりの七夕まつりの開催を祝うかのように、大きな笹が届きました。スタッフの松方さんのご厚意によるものです。切りたての青々とした笹に担当スタッフが童心に返って飾りつけをしていきます。そして学習者の皆さんが願い事を書いた短冊を結び付けていきます。七夕の説明をわかりやすく解説した後、5年前に私が作った七夕物語の紙芝居をバージョンアップして披露し、司会がくじを引いて、当たった学習者さんがご自分の短冊を読み上げます。オンライン参加の学習者さんも画面の向こう側から読んでくれました。少し紹介します。「お金持ちになりたい」「早く日本語がペラペラになりますように」「彼女ができますように」「コロナが早く終わりますように」。ちょっと照れながらも嬉しそうに発表する姿はなんて素敵なのでしょう！そして「たなばたさま」の曲をみんなで合唱しました。前奏、間奏までチャラ～と歌って盛り上げてくださった谷岡さん。

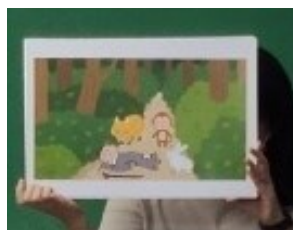
さすがです！最後に笹の前で記念撮影。七夕の夜「みなさんに喜んでいただけますように」というスタッフの願いは叶ったようです。

(しばた まりこ  
柴田 真理子)

### ●お月見（つきみ）



9月14日に「お月見」の行事を行いました。テーブルには3年ぶりにお月見団子と、ススキや秋の花が飾られ、最初にお月見の由來說明、次に



「月うさぎのお話」の紙芝居、そして「うさぎ」の歌を森さんの弾く大正琴に合わせてみんなで歌いました。その後ブイ・ティ・ジョさんからベトナムのお月見の紹介がありました。ベトナムのお月見は子供のための日だそう、ランタン祭りの動画を交えながら話してくれました。最後は学習者の集合写真撮影を行い、楽しい会となりました。

(ふくだ てるみ  
福田 照美)



## ●防災訓練（ぼうさいくんれん）

地震や、火事の時の逃げ方を習いました。

揺れたら、机の下に入り、頭を守ります。その後ドアを開け、階段を降り外に出ます。廊下にある



警報ボタンを強く押すと音が鳴り、館内に知らせることができます。電気が消えた時、自動ドアは手で開けられます。1階にAEDと緑色の電話があります。この電話では、赤いボタンを押すと、110（警察）、119（消防・救急）へ無料でつながります。171は、伝言ダイヤルです。スマホが使えない時でも、この電話なら使えることが多いです。

スマホで「Twitter 国分寺市 防災」と調べてください。大切なことがわかります。

皆さん、真剣に参加していました。何も無いことを願います。

（相澤 康代）

## ●TKU×KIA 大学生による学習者へのインタビュー\*



国分寺市国際協会（KIA）では地元の大学とのコラボレーションを進めています。2022年10月12日と10月19日に、東京経済大学

（TKU）広報課で学生記者をしている内田 充俊さんと有山 詩織さんが、日本語教室（夜）の学習者にインタビューを行いました。

10月12日にインタビューを受けたのは、セン・ジンウェンさんです。センさんは中国の出身です。センさんを担当しているスタッフの廣田さ

んを交えて、一時間近く話がはずみました。

10月19日にインタビューを受けたのは、ベトナム出身のリ・ヴァン・タイさんです。2回目になると、学生記者の皆さんもすっかり慣れたようです。有山さんはタイさんと二人で長い間話していました。日本語に困ると、簡単な英語を話したり、スマホを見せたりしていました。内田さんは外国に興味があるため、タイさんを担当するスタッフの藤本さんから、アジアでの経験について、床に座り込みながらお話を聞いていました。



インタビューの後、学生記者の二人は日本語教室の様子を見学しました。すると香港出身のケリーさんと話が弾み、教室が閉まるまでずっと話をしていました。パイナップルパンの話をしていました。



帰る時に有山さんと一緒に電車に乗りました。有山さんに「インタビューはどうでしたか」と聞くと、「いろいろな事が頭の中をグルグルしていて、ぱっと答えられない」と言いました。今までにない、新しい体験だったのでしょ。

東京経済大学の学生は、普段外国人と接する機会がない人がほとんどです。国際協会について知っている学生もごくわずかです。これからもTKU×KIAのコラボレーションを企画して、地元の大学生に国際協会について知ってもらいたいと考えています。

内田さんと有山さんが書いたインタビュー記事は、国際協会のホームページに掲載されています。

👉 <https://www.1991kia.jp/>

（小田 登志子）

\*この取り組みは2022年度東京経済大学地域連携センター2022年度「国分寺周辺地域活動費」の助成を受けて行われました。

## 特集 『私の行ってみたいところ』 パート2



今回の「私の行ってみたいところ」は、前号に掲載のない学習者の皆さんに書いていただきました。写真下はスタッフが書いた学習者の紹介文です。

※日本語で文章を書くのがまだ難しい方は、スタッフが訳していますが、極力原文に近い形で掲載しました。

※お名前の（）内は呼び名、[]内は出身国や地域です。



### 曾 文薈 (ソ ブンワイ) さん [中国]

私の行ってみたいところは岐阜県の<sup>ひだし</sup>飛騨市です。数年前「君の名は。」は中国で上映されました。私は見て、強く心をうたれました。映画の中でヒロインの暮らす町は糸守町と呼ばれ、仮想の町です。飛騨市を原型にして、新海誠監督の出身地である長野県諏訪市と合わせてできた町です。映画の中の景色は美しいと思います。機会があれば、家族と一緒に飛騨へ旅行に行きたいです。現地の風土と食文化を体験したいです。いい思い出になると思います。



ソさんは中国の湖南省出身です。とても勉強熱心で、今は N3 合格に向けて勉強しています。キムタクの大ファンです。

山崎 多恵子(やまざき たえこ)さん



### トウジャさん [ミャンマー]

鉄筋の仕事で2022年6月にミャンマーから日本に来ましたトウジャです。25才です。行ってみたいところは<sup>ふじさん</sup>富士山です。山登りが好きなので富士山の頂上まで登りたいです。上から写真を撮るのが楽しみです。

### ラシさん [ミャンマー]

トウジャさんと同じ会社で働いているラシです。21才です。行ってみたいところはディズニーランドです。友達といろいろな乗り物に乗ってみたいです。ミャンマーには大きな遊園地がないので楽しみです。



ミャンマーからきたばかりのお二人は、仕事も日本語の勉強も頑張っています。

鏡 砂佳江(あぶみ さかえ)さん



### グエン・ヴァン・ズオンさん [ベトナム]

ベトナムにかえりたい。もう3ねんベトナムへかえりませんでした。おしょうがつにかぞくをおもいだします。おかあさんのりょうりがおいしいし、あたらしいふくをかっています。おかねをかせぐためにベトナムからにほんにきました。いつもひとりだからさびしくしています。かぞくにいたい。



ズオンさんは日本でがんばって働いています。今は主に読み方の練習をしています。どんどんうまくなっていて、一緒に勉強するのが楽しいです。

豊嶋 晶子(とよしま あきこ)さん

## リ・ヴァン・タイさん〔ベトナム〕

皆様初めまして、タイと申します。ベトナムから参りました。2022年5月に日本へ来ました。日本にいるあいだに観光したいところについてですが、その場所の名前は<sup>きょうと</sup>京都です。なぜ京都に行きたいかという、このあいだ会社の同僚に教えてもらったからです。昔京都は首都でした。今でも古い街もあるし金閣寺もあるし銀閣寺もあるし伏見稲荷もあります。このような場所が有名です。そして京都の歴史と伝統文化、着物や茶道や剣道などを体験したいです。



タイさんは5月に日本に来たばかりですが、日本語がとても上手です。仕事も忙しいですが、来年のN2合格を目指して頑張っています。

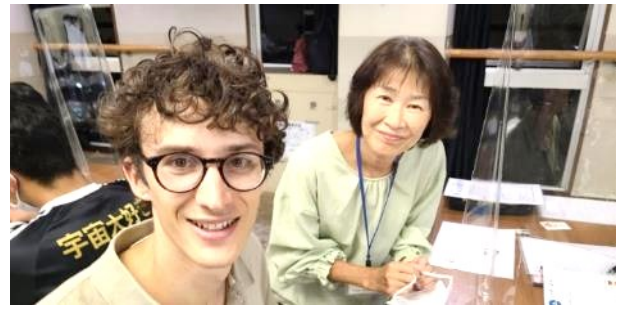
藤本 尊之(ふじもと たかゆき)さん

## ジョバンニさん〔イタリア〕

私は今年の4月に大学院に通うため来日しました。すでに北日本のいろいろな場所には行ったので、西日本に行ってみたいです。特に<sup>きょうと</sup>京都はとても有名なので、ぜひ訪れてみたいと思っています。

趣味は水泳、ハイキングなどで、ジャグリング

も得意です。



ジョバンニさんは大学では英語で勉強しているので、ぜひ日本語を使う機会が欲しいと日本語教室に参加しています。とてもまじめで一生涯懸命がんばっています。

高橋 直子(たかはし なおこ)さん

## Yung Ching Man (ケリー) さん〔香港〕

秋と言えば、紅葉が訪れる季節です。紅葉スポットとして結構有名な場所、宮城県にある<sup>なるこま</sup>鳴子峡を一度見に行きたいです。上から見おろせば、真っ盛りの紅葉の間にゆっくり走っている列車が見えます。列車に乗ったら、鉄道で車窓からその景色をもっと近くで味わえます。列車の終点は鳴子温泉です。温泉街を散策したあと、紅葉を見ながら楽しめる温かい温泉に行けます。涼しい秋とぴったりだと思います。暇があれば仕事を一旦忘れて、癒されに行きませんか？



ニックネームはケリーさんです。日本語はとても上手で、前向きな方です。教室では、彼女が読みたい日経新聞の記事を教材として、一緒に勉強しています。

飯島 俊文(いいじま としふみ)さん





# イベントレポート



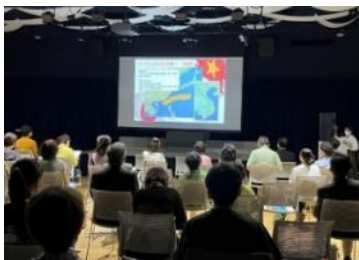
日本語教室には、国分寺市や国分寺市国際協会主催の教室以外で行われるイベントの案内が届きます。どんなイベントだったか気になりませんか？今回は教室以外のイベントに参加されたスタッフや学習者にレポートをお願いしました。



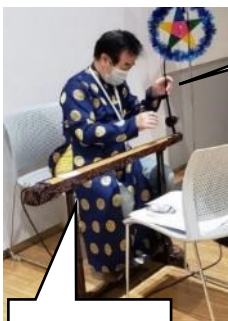
## ●ベトナムオンラインツアー&交流会

9月24日(土)、リオンホールで国分寺市の多文化共生事業として「ベトナムオンラインツアー&交流会」が開催されました。前半は、ベトナム各地の観光名所の紹介映像とホーチミン市のライブ映像が上映されました。ライブ映像は、リアルタイムのホーチミンの日常を切り取り、素晴らしかったと思います。後半は、ランタン作り、ベトナム語の手ほどき、ベトナムのアオザイや料理道具、版画や遊具、楽器の展示のなどのコーナーが設けられました。当日は天候に恵まれたとは言い難かったのですが、多くの方々が参加されていました。

むらやま よしただ  
(村山 良忠)



楽器『ダン・パウ』



アオザイ



## ●きものフェスティバル 2022

10月30日(日)、国分寺市本多公民館で行われたきものフェスティバルに参加しました。参加者は3歳の子供から60歳の方まで、誰でも着物を楽しめます。和服は、基本的には直線で構成されていて、荘重さ、落ち着き、日本の美意識を代表するものだと思います。私も日本語教室(夜)から参加された皆さんと一緒に着物の一種である浴衣を着ました。年齢によって、浴衣の色と柄も違います。浴衣を体験した上に、各自の「賞」ももらえました。本当に楽しかったです。



外国人も楽しめる着物イベントを作った皆様、ありがとうございました。

こう しゅゆえ  
(黄 淑玥 HUANG SHUYUE)

学習者さんたちが次々とステージに現れると、会場全体が熱気に包まれ、「国際色」という彩りが添えられることで、着物文化の魅力を再発見できた気がしました。固有の伝統・文化というものは、それを内側の人だけで守っていくのではなく、周りの人たちとシェアすることで、長く続いていくのだなと改めて感じさせられる良い機会となりました。

なかがわ のりあき  
(中川 紀彰)



「かっこいいで賞」をもらいました。  
とっても楽しかったです!(ズオン)

いいね! 👍

※日本語教室(夜)からは10名の学習者が参加されたそうです。

## 新しいスタッフ紹介



新たに国分寺市国際協会（KIA）の日本語教室（夜）に加わった3名の方に自己紹介をしてもらいました。さっそく学習者とマッチングされ、教室で活躍されています。今年度の日本語支援ボランティア養成講座は12月に開催されますが、キャンセル待ちが出るほど人気ようです。日本語学習希望者も増えつつあります。お仲間が増えるのはうれしいですね。



### 鏡 砂佳江（あぶみ さかえ）さん



東京生まれの東京育ち。栃木県に38年住んだ後、国分寺市に戻ってきました。専攻は音楽教育ですが、コロナ前まで日本語学校で教えていました。現在光公民館でも生活日本語のボランティアをしています。ここ10年は介護生活で、これまで人のお世話ばかりの人生です。一見穏やかでのんびり屋に見えるらしいですが、実はかなりのせっかちな性格です。これからは日本語を教えることを楽しんで、生徒と一緒にゆっくり歩んでいけたらと思います。



### 高橋 直子（たかはし なおこ）さん

ずっとIT関連の仕事を行ってききましたが、ついに来年定年を迎えます。数年前から第二の人生について考えてきたのですが、異文化



や国際交流などの分野に興味があり、「日本語教育」に携わる仕事はどうかと考え、少し自分でも勉強していました。また2月の日本語支援ボランティア講座にも参加させていただき、さらに日本語教育ボランティアへの気持ちが強くなりました。講座後すぐには都合がつかず、本教室への参加が少し遅れてしまいましたが、同講座に参加されていた方々もいらっしゃるということで、心強く思っております。経験も浅く、皆さまにいろいろ教えていただくことがあると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



### 豊島 晶子（とよしま あきこ）さん

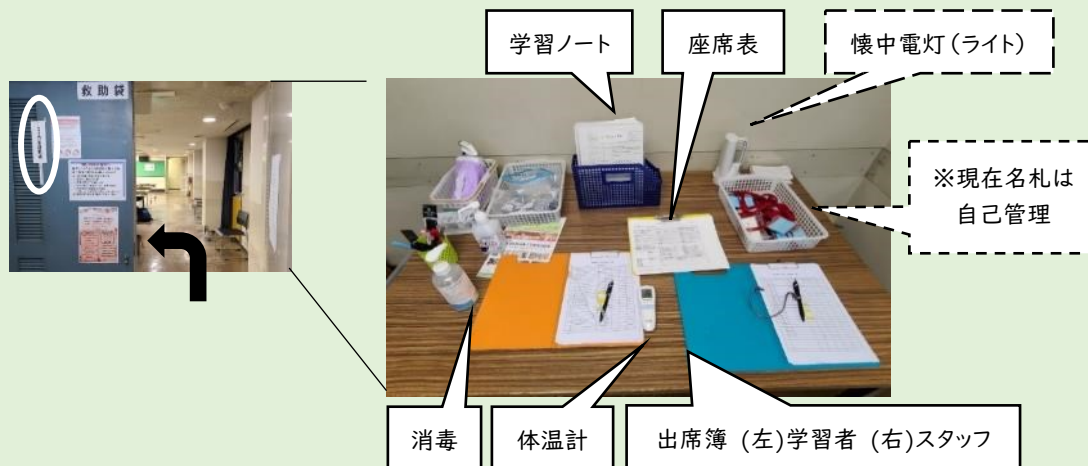


みなさま、初めまして。今年のボランティア養成講座を受講し、9月から水曜夜の教室に参加をしています。同期の方が多いと聞き、とても心強いです。コロナの前に、インドネシア・スラバヤ市の高校で半年ほど日本語のアシスタントをしておりました。その際、市主催の無料のインドネシア語教室に通い、先生やクラスメートにとってもお世話になりました。今度は私がKIAでそうした活動ができればと思います。よろしくお祈りいたします。

# 教室の様子

## 【受付】

- ① 建物の3階へ上がり、『日本語教室』の札がある教室へ。
- ② 教室へ入ったら、まずは左手のテーブルへ。
- ③ 消毒、検温をして、出席簿（学習者・スタッフ別）に記入します。
- ④ 学習ノートを取り（学習者）、座席表を見て番号の席へ。名札を付けてくださいね。



## 【当番の方】

- ① 当番の方は6時30分に来ます。
- ② 窓を開けます。
- ③ 机と椅子、アクリル板、テーブル番号をセットします。 片付けは全員です!
- ④ 休憩時間7時45分と終了時間8時45分に鐘を鳴らして皆さんにお知らせします。

## 【教室内】

- 教室の前（黒板側）にはドアが二つあります。  
右側は椅子の収納庫、左側は書庫です。書庫の本は借りることができます。  
左側奥は非常ドアです。いざという時、ここから外に逃げます。



## 【今後の予定】

- |     |         |
|-----|---------|
| 12月 | 年末お楽しみ会 |
| 2月  | 節分      |
| 3月  | ひなまつり   |

国分寺市国際協会 日本語教室（夜間）

かけはし 55号（2022年11月）

発行責任者 梶原 貴

編集担当者 小田 登志子、増井 信、若林 真弓

写真担当者 増井 信、若林 真弓